

I 継続実施の広報・啓発

- 1 テレビCM等の放映
 - ・ 6月から、1回15秒、1日当たり2回程度のCM放映（8種類）を開始（令和7年3月末まで）
 - ・ 計9回の情報番組パブリシティの放映
- 2 動画配信サイト広告の実施
 - ・ 6月から、動画配信サイトYouTubeで配信（令和7年3月末まで）
 - ・ 動画の内容は、上記1のテレビCMと同様
 - ・ 県の多様性・寛容性に向けた取組を県内出身者の県外在住者にPRするため、帰省が多く見込まれるお盆及び年末年始に主要な駅や空港で配信予定

- 3 児童生徒向け副読本の配布
 - ・ 小5、中1、高1の児童生徒を対象に約23,000部の副読本を配布予定（秋頃）
 - ・ 内容については、令和5年度配布分に関して、各学校に依頼したアンケート等に基づき改訂



【令和5年度副読本マンガ（小学生用）】

- 4 理解促進動画の配信
 - ・ 理解促進動画「喫茶ダイバーシティ」を動画配信サイトYouTubeで配信
 - ・ 県庁内各部署、市町村、各種団体等に視聴に関する依頼
 - ・ 研修・出前講座等での活用



- 5 研修・講座等の実施
 - ・ 県・市町村の新規採用職員研修において、多様性に満ちた社会づくりに関する研修を実施
 - ・ 民間企業・各種団体等の求めに応じて、各種講座等における説明を実施

- 6 フォーラムの開催（8月27日開催）
 - ・ (株)QuizKnockCEO/クイズプレイヤーの伊沢 拓司氏を招き、多様性に満ちた社会づくりフォーラムを開催
 - ・ 次の4名を招き、パネルディスカッションを実施<パネリスト>
 - (一社)アンコンシャスバイアス研究所 代表理事 守屋 智敬 氏
 - (株)ALL-A シニアアドバイザー 西村 修 氏
 - 協同組合ニカホノサキ 代表理事 國重 咲季 氏
 - (株)秋田キャッスルホテル 執行役員 矢野 健太郎 氏

- 7 ワークショップの開催
 - ・ より効果的な施策展開に向け、多様性のある社会づくりに係る、様々な取組の実践者が参加するワークショップを開催し、課題の把握や必要な取組に関する意見を聴取する。
 - ・ 開催回数：2回（7月30日、9月に第2回目開催予定）
 - ・ 出席者：関連する取組を行う個人、団体・企業等の代表者 当事者など



- 8 イベントにおけるブース出展
 - ・ 集客力のある県内イベントにおいて、多様性・寛容性のある社会づくりに向けたPRを行う。
 - ・ 開催回数：2回
 - ・ 出展イベント
 - ◇ 7月27日、28日 「子育て応援団すこやかあきた」
会場：県立武道館
R6実績：入場者数約23,000人/ブース来訪者約800人
 - ◇ 9月28日、29日（予定）「ABSまつり」
会場：エリアなかいち
R5実績：入場者数約45,000人/ブース来訪者約1,000人



- 9 差別的な相談窓口の設置
 - ・ 専門的な問題や深刻な問題にも対応できるよう、各種の専門機関等に直ちにつながることのできる体制の整備や弁護士との連携も図っている。

II 令和6年度における新たな取組

- 1 映画館での映画放映前の広告配信
 - ・ 7月下旬からTOHOシネマズ（秋田市）の全スクリーンで配信（令和7年3月まで）
 - ・ 動画の内容は、上記1のテレビCMのうち、昨年度作成したCM（寛容性をテーマしたもので、「ちがいを互いに思いやる」編 3種類）
- 2 ラジオ放送の配信
 - ・ 放送回数：1回（日時は未定）
 - ・ 番組名：「まちなかSESSION エキマイク」

III 取組に関する主な意見

今年度行った講座等におけるアンケートや副読本に関するアンケートにおいて、次のような意見があった。

【広報・啓発全般について】

- ・ 自分も当事者になる可能性があることを知ったため、今後は思いやりの心を持って生活したい。
- ・ 職場などは差別等が起こりやすい環境であるため、トップの方々が積極的に差別等をなくす取組を進めていく必要がある。

【副読本について】

- ・ 事例に即した多様性についての考え方を、イラストを使って分かりやすく例示されていて使いやすい。
- ・ 二次元コードが要所要所にあり、リンクすることでより深い発展的な学びにつながる所が良いと思う。分量的にもちょうど良い。
- ・ いじめについても取り上げており、学校生活のさまざまな場面で活用できると感じた。
- ・ 多様性を取り入れたことによる成功例や、同じような価値観の集団で陥りがちな盲点などにも触れていただきたい。

IV フォーラム参加者からのアンケート結果

質問 1 あなたの年齢を教えてください。

10～30代	40～50代	60代以上	無回答	合計
27	31	17	1	76

質問 2 あなたの性別を教えてください。

(ご自身の認識によりお答えください。)

男性	女性	その他	無回答	合計
28	46	1	1	76

質問 3 あなたは、ご自身や身の回りで、差別、いじめ又はハラスメント(以下「差別等」という。)を感じることはありますか。

①よく感じることもある	6
②たまに感じることもある	39
③あまり感じることはない	27
④全く感じない	4
合計	76

質問 4 質問 3 で①～③を選んだ方に伺います。

どのような差別等を感じることはありますか。

※質問 6 の回答と併せて記載

質問 5 差別等の解消や多様性・寛容性のある社会づくりに向けた取組を必要と考えますか。

①必要	73
②不要	2
無回答	1
合計	76

質問 6 質問 5 で①を選んだ方に伺います。

質問 4 の①～⑬の分野で特に必要と考えるものを教えてください。

差別等の項目	質問 4	質問 6
①性別に関するもの	41	43
②障害を理由とするもの	15	34
③感染症の患者及び医療・介護従事者等に対するもの	7	17
④がん等の疾病に関するもの	2	11
⑤性的指向、性自認等を理由とするもの	13	24
⑥外国人に対するもの	17	26
⑦年齢を理由とするもの	25	19
⑧犯罪被害者等に対するもの	3	5
⑨犯罪をした人等に対するもの	5	6
⑩パワーハラスメント	30	42
⑪カスタマーハラスメント	16	20
⑫セクシャルハラスメント	15	26
⑬マタニティハラスメント	4	10
⑭いじめ	12	24
⑮その他	3	2
合計	208	309

質問 7 多様性・寛容性のある社会づくりに向けた広報として、情報を受け止めやすいメディア等を教えてください。

①講演会・研修会・イベント	41
②パンフレット・冊子等	11
③新聞	23
④ポスター・街頭広告	12
⑤ラジオ	11
⑥テレビ	31
⑦ウェブサイト	21
⑧動画サイト	20
⑨SNS	33
⑩その他	4
合計	207